

【久慈港湾口防波堤】

平成28年5月 南堤1,100m概成（ケーソン据付完了）

平成29年1月末現在 計画延長3,800mに対し、概成（ケーソン据付）1,865m

【震災後】



平成23年4月撮影

【現在】



平成29年2月撮影

平成28年4月23日(土) みなとオアシス『もぐらんぴあ』リニューアルオープン
東日本大震災後、約5年1ヶ月ぶりに再開
平成29年2月5日 再開後、約9ヶ月で入館者数10万人に到達



トンネル水槽



海女の素潜り実演



もぐちゃん&かめきち



石油文化ホール



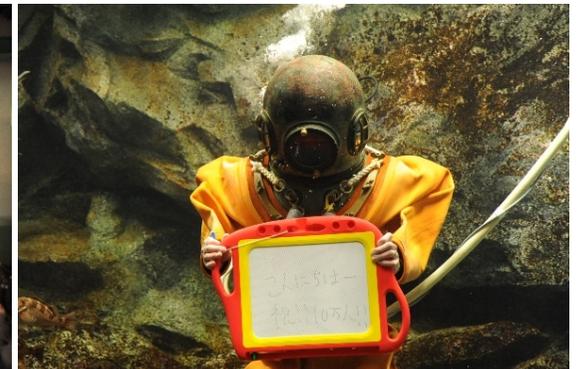
オープニングセレモニー



入館者5万人到達



入館者10万人到達



【災害復旧事業】

平成26年3月 災害復旧事業完了

【竜神崎地区防波堤】

平成27年10月 竜神崎地区防波堤400m概成（ケーソン据付完了）

【震災後】



平成23年4月撮影

【現在】



平成28年3月撮影

宮古港 - 室蘭港フェリー航路開設

『みたと』と『みち』が
地域経済の復興を支える

国土交通省東北地方整備局
釜石港湾事務所

～ 宮古港の既存ストックの活用、復興道路・復興支援道路の整備がフェリー航路開設につながる～

宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設（岩手県初の運航）

宮古港、三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。

【航路概要】（川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋）

開設時期 平成30年6月（予定）

運行計画 1日1往復、毎日運行

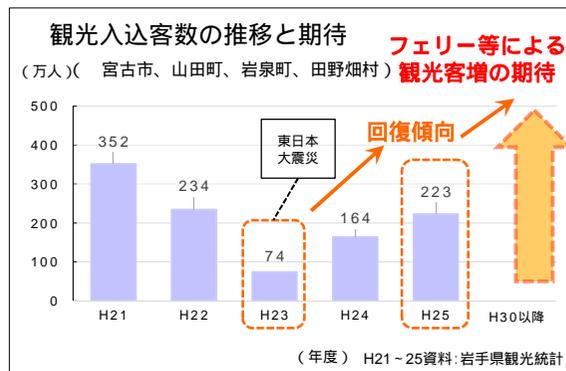
選定理由

急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上

トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路

両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待

自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。



藤原ふ頭岸壁に接岸したフェリー



宮古港 - 室蘭での運航を予定している「シルバークイーン」が、宮古港内で安全に航行・接岸できるかを確認するために、一時的に試験寄港した状況

【釜石港湾口防波堤災害復旧事業】

平成27年8月 北堤深部概成

平成29年1月末現在 計画延長1,960mに対し、概成（ケーソン据付）1,650m

【震災後】



平成23年4月撮影

【現在】



平成29年2月撮影



被災後の北堤の状況
平成23年4月



現在の北堤の状況
平成29年2月

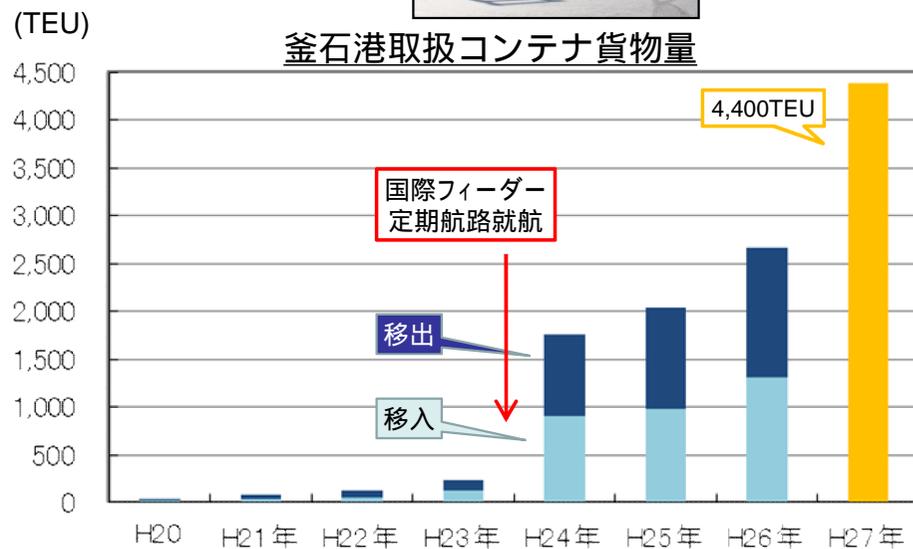
釜石港国際フィーダー機能の強化

『みなと』と『みち』が
地域経済の復興を支える

震災直後の平成23年7月に国際フィーダー定期航路が就航
東北横断自動車道路秋田 - 釜石線の整備進捗により、取扱貨物量が増加
平成28年度に岩手県がガントリークレーンを設置予定

before

after



【岸壁災害復旧事業】

○平成25年9月 野々田地区岸壁復旧事業完了

【大船渡港湾口防波堤災害復旧事業】

○平成28年9月 全延長736m概成（ケーソン据付完了）

○平成29年3月 災害復旧事業完了

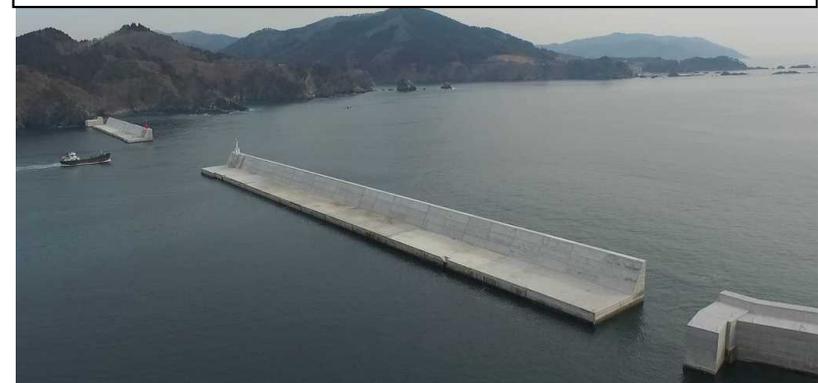
【震災後】



【現在】

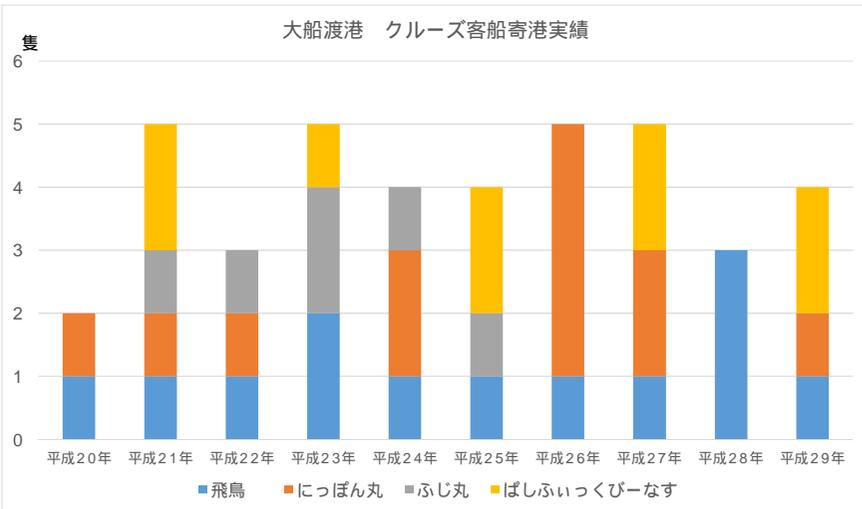


現在の湾口防波堤(平成29年3月)



大船渡港にクルーズ客船復興支援寄港

震災時の震災に係る支援船として、平成23年4月にふじ丸が寄港
飛鳥クルーズ就航25周年と先代「飛鳥」から通算して31回目の寄港を記念し、平成28年6月に「飛鳥」を「おおふなと特別観光大使」へ委嘱（毎年、寄港）



ふじ丸 震災に係る支援寄港



大船渡港を航行する飛鳥



飛鳥 復興祈念植樹 (H28.6.8)